事務事業評価シート　令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育振興班

事務事業名	コード	42600	スポーツ振興事業	予算科目	会計	款	項	目
		①	（各種スポーツイベント）（競技団体への支援）		一般	10	5	1

施策体系					
基本施策	6	スポーツの振興	根拠法令	旭市スポーツ振興事業補助金交付要領	
施策の展開	14	スポーツ活動の充実	戦略事業	64	スポーツ振興事業（各種スポーツイベント）
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏構想
- ☑ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☐ 平成　年度～ ☑ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成　年度～ 令和　年度まで	1. 競技団体への支援 ①スポーツ協会、②スポーツ少年団、③卓球招致等委員会の各種競技団体が行うスポーツ活動を支援するため、運営費に対して補助金を交付する。 2. 各種スポーツイベントの運営補助 ①市民がスポーツを通じて一体感を醸成するためのスポーツイベントやスポーツ大会を開催する団体等に補助金を交付する。 ②スポーツ大会を通して市のPRを行える大会等に対して補助金を交付する。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
・各団体、実行委員会等が、スポーツを通じて市民の一体感を醸成するため、各種スポーツイベントやスポーツ大会を開催。	・市民体育祭に関して、開催趣旨等がまだ十分に浸透していない。	・市民体育祭に関して、各地区での負担が大きいとの声がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（3年度の決算）		単位：千円
1.市民体育祭補助金		
2.市スポーツ協会補助金	2,189	市スポーツ協会補助金
3.市民駅伝大会補助金		
4.スポーツ大会招致・開催補助金	1,603	世界ユース卓球選手権大会男女団体日本代表選手第1次選考合宿
5.あさひスポーツフェスティバル開催補助金		

② 特定財源の内訳（3年度の決算）		単位：千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他	612	地域振興基金

前年度増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響で一昨年度は中止となった事業を、昨年度は実施したため。

		単位	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 市民体育祭補助金	千円	6,500	3,671			
	2. 市スポーツ協会補助金	千円	2,160	2,160	1,771	2,189	2,389
	3. 市民駅伝大会補助金	千円	1,836	1,873			1,873
	4. スポーツ大会招致・開催補助金	千円	2,466	1,747		1,603	2,000
	5. あさひスポーツフェスティバル開催補助金	千円					3,104
	事業費計（A）	千円	12,962	9,451	1,771	3,792	9,366
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	6,500	3,671		612	4,977
	5. 一般財源	千円	6,462	5,780	1,771	3,180	4,389

従事職員数	常時	3 人	最大	90 人	×	1 日	＝	延べ	90 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

3年度実績（3年度に行った主な活動）

6月 アジア卓球選手権ドーハ大会日本代表選手選考合宿
9月 世界ユース卓球選手権男女団体日本代表選手第1次選考合宿
10月 旭市民体育祭（中止）
12月 旭市民駅伝大会（中止）

	③ 活動指標名	単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	補助金（運営費）交付団体数	団体	3	3	2	2	2
イ	スポーツイベント・大会開催数	回	10	9	1	1	7

目的

	② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）
対象	補助金交付団体（③-ア）
意図	所属人数を増やし、スポーツ大会・イベントに参加し、他団体との交流を増やし、健康増進・促進に励む。
対象	スポーツイベント・大会の参加者
意図	健康増進・促進に励む。

	④ 成果指標名	単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	補助金交付団体（③-ア）が参加・主催・後援等するスポーツイベント・大会数	回	17	17	3	6	14
イ	主要スポーツ大会（市民体育祭、市民駅伝大会、市民スポーツ大会）の参加者数　＝KPI	人	9,636	6,498	0	0	4,100

(4) 事務事業優先度評価の結果

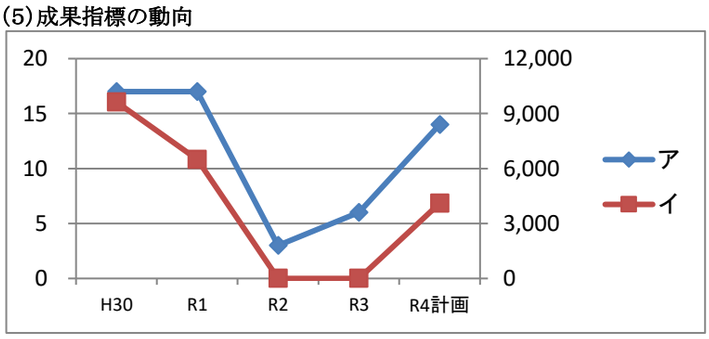
①成果優先度評価結果

施策貢献度	成果向上余地：かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい		②	
普通			
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

成果優先度評価結果	コスト比率：下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①			
②③	(2)		
④⑤⑥			
⑦⑧⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況
【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

☐ 完了　☐ 順調　☐ 概ね順調　☑ 停滞　☐ 実施困難

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた大会やスポーツイベントが中止となった。

② 成果の状況

成果指標	成果指標のタイプ		数値増＝成果向上	向上	横ばい	低下
成果指標ア		↗	数値増＝成果向上	☑	☐	☐
成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐	☑	☐

【コメント】（低下の場合、その理由）

新型コロナウイルス感染症の発生前と比較すると低下しているが、前年と比較し評価した。コロナ禍の状況の中ではあるが、感染症対策を行いながらイベントを再開し始めている。

成果動向 比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
ア	0	0	△14	3	8
イ	△63	△3,138	△6,498	0	4,100

③ 今年度取組事項（4年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
9月	世界ユース卓球選手権男女日本代表選手選考合宿
10月	あさひスポーツフェスティバル 向太陽杯ﾊﾟｰｸｺﾞﾙﾌ大会（小・中・親子の部）
11月	向太陽杯ﾊﾟｰｸｺﾞﾙﾌ大会（一般の部）
12月	旭市民駅伝大会

今後の方向性

☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 現状維持　☐ 廃止・休止　☑ 見直し　☐ その他（　　）

R4年度：市民体育祭は発展的解消（中止）とし、新たにあさひスポーツフェスティバルを開催する。
向太陽杯は、開催目的を市内外の参加者の交流促進からパークゴルフを通じた市民の健康増進とスポーツ振興に変更する。

事務事業評価シート　令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育振興班

事務事業名	コード	42600 / ③	スポーツ振興事業（しおさいマラソン、パークゴルフ大会等）（ドイツ交流事業）	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	1

施策体系					
基本施策	16	交流の促進	根拠法令	旭市補助金等交付規則、東京オリンピック事前キャンプ地誘致推進本部設置要綱	
施策の展開	32	交流事業の促進	戦略事業	148	スポーツ振興事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏構想
- ☑ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間

☑ 単年度繰返
- ☑ 平成 元 年度～
- ☐ 開始年度不詳

☐ 期間限定複数年度
平成＿年度～
令和＿年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

≪飯岡しおさいマラソン≫平成元年度～・市民ランナーによるマラソン大会の開催。【実施団体】旭市体育協会主催、旭市・旭市教育委員会共催、旭市飯岡しおさいマラソン大会実行委員会主管【実施時期】2月第1日曜日【開催種目】2km（親子の部）、3km（小学生）、5km（中学生・一般）、10km（一般）、ハーフ（一般）【会場】いいおかユートピアセンター【コース】市内海岸通り（県道30号）≪パークゴルフ向太陽杯≫平成20年度～・全国から参加者を募り、パークゴルフの全国規模の大会（向太陽杯）を、あさひパークゴルフ場で開催する。・大会は、2日間行われ、くろしおコース・しおさいコースの各コースを4人1組で午前・午後、1回ずつ周る。参加者は例年160名で、表彰は男子・女子共に1位～3位。その他、飛び賞・ホールインワン賞がある。参加賞として丸干しイワシを配布。【実施団体】旭市・向太陽杯実行委員会主催　【協力】㈲ちばてつやプロダクション【実施時期】10月【参加費】2日間　3,000円（昼食込）・地元産品を使った昼食の提供（2日分）及び各賞副賞として地元産品を贈呈することで、旭市のPRも行う。≪ドイツ交流事業≫ドイツ・デュッセルドルフ市との卓球交流事業を通じて、スポーツまたは文化など様々な分野でのコミュニケーションを図る。（平成21年度から旭市を会場として開催）

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

≪マラソン≫平成元年に旧飯岡町で町民の健康増進、地域の活性化のために始まった。≪パークゴルフ≫・平成20年度に完成した旭市パークゴルフ場の利用促進、旭市及び旭市の特産品のPRを行うため、また、市内外の人々のパークゴルフによるスポーツ交流と市民の健康増進を促進するために開始した。

④事務事業に関する課題・環境の変化

≪マラソン≫飯岡地域のみで開催していたが、市町村合併及び震災により、飯岡地域、旭地域を走るコースへ平成23年度に変更となった。しかし、市全体で考えると本大会に対する考え方や取り組みに地域の温度差がある。また、旭市体育スポーツ協会の事業であるが、実行委員会事務局を体育振興課で行っており、市職員の負担が増加している。また、現在のランニングブームの影響をうけ、マラソン大会が全国多数開催される中、参加者をどう増やしていくかが課題となっている。ポスターやチラシだけでなく、HPやSNSを使用した情報発信が必要である。≪パークゴルフ≫・大会開始当初から、参加募集人数は変わらない。・大会申込数（市外）は第1回大会（平成20年度）では157名だったのが、第5回大会（平成25年度）では179名と22名の増となっている。また、交流をうたっている中で参加者が固定化しており、新規の参加者をどう集めていくかが課題となっている。≪ドイツ交流事業≫交流事業をチャンスと捉え、事前キャンプ地の交渉を進めたい。

⑤事務事業に対する住民からの意見等

≪マラソン≫参加者は年々増加しており、27年間継続して開催している歴史ある大会でもあることから、広く周知された大会である。参加者からは、地域のボランティアの温かさを感じる良い大会であるという意見が多い。≪パークゴルフ≫・旭市産の食材を使った昼食等のおもてなしは、全国から集まった参加者から好評を得ている。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（3年度の決算）　単位：千円

1.飯岡しおさいマラソン大会補助金	922	旭市飯岡しおさいマラソン大会への補助金
2.向太陽杯補助金		向太陽杯への補助金
3.日独交流事業開催補助金等		日独交流事業への補助金

② 特定財源の内訳（3年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他	922	地域振興基金で充当

前年度増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響で各種事業が中止となったため。

		単位	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）
事業費	費目内訳 1. 飯岡しおさいマラソン大会補助金	千円	5,800	5,110	1,159	922	8,000
	2. 向太陽杯補助金	千円	1,600	1,632			610
	3. 日独交流事業開催補助金等	千円	500				500
		千円					
		千円					
	事業費計（A）	千円	7,900	6,742	1,159	922	9,110
	財源 1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	7,400	6,742	1,159	922	8,610
	5. 一般財源	千円	500				500

従事職員数	常時 1 人	最大 137 人 × 1 日 ＝	延べ 137 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動
3年度実績（3年度に行った主な活動）
≪マラソン≫第31回大会参加者への案内ハガキの発送、大会フォトコンテストの実施

	③ 活動指標名	単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	ポスター・チラシ・募集要領・プログラムの作成・配布部数（しおさいマラソン・パークゴルフ）	枚	17,400	17,400	0	0	16,800
イ	≪日独≫交流日数	日	7	0	0	0	7

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象	参加者
意図	・市内外の参加者同士が交流することにより、相互理解と交流親睦を図る。
対象	≪日独≫交流事業参加者
意図	国際社会で活躍できる人材を育成し、国際人の育成と競技力向上を目指す。また、ドイツの皆様に旭市をアピールし、事前キャンプ地誘致につなげる。

	④ 成果指標名	単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	参加者定員に対する申込者数の割合（しおさいマラソン・パークゴルフ）	%	72.5	66.0	0.0	0.0	80.0
イ	≪日独≫交流事業参加者数	人	90	0	0	0	90

(4)事務事業優先度評価の結果

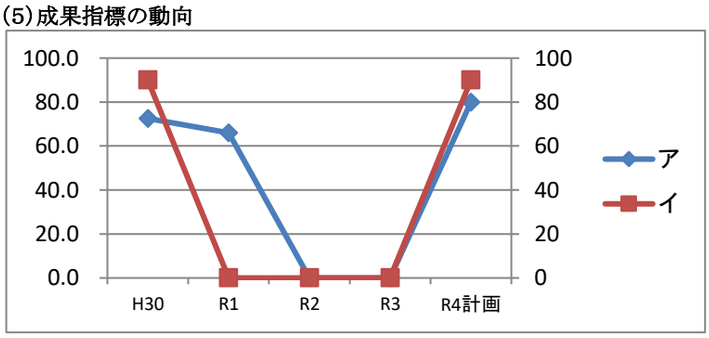
①成果優先度評価結果

		成果向上余地 かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい	①		
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率 下位1/3	中位1/3	上位1/3
成果優先度	①	(1)		
	② ③			
	④⑤ ⑥			
	⑦⑧ ⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☐ 概ね順調　☑ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）
新型コロナウイルス感染症の影響により事業を開催できなかったため。

② 成果の状況

成果指標	成果指標のタイプ			向上	横ばい	低下
成果指標ア		↗	数値増＝成果向上	☐	☑	☐
成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐	☑	☐

【コメント】（低下の場合、その理由）

成果動向 比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
ア	0.8	△6.5	△66.0	0.0	80.0
イ	90	△90	0	0	90

③ 今年度取組事項（4年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
4月～翌2月	≪しおさいマラソン大会≫【7月】大会要項決定【10月～】参加者募集【2月5日】大会開催≪ドイツ交流事業≫ドイツの学校とのオンライン交流を開始事業は企画政策課へ移管する。

今後の方向性
- ☑ 拡大
- ☐ 縮小
- ☐ 現状維持
- ☐ 廃止・休止
- ☑ 見直し
- ☐ その他（　　）

R4年度　しおさいマラソン大会は、参加者を増やすため、SNS等を活用したPRや新たな企画を行うなど、内容を拡充する。向太陽杯は、開催目的を市内外の参加者の交流促進から市民の健康増進とスポーツ振興に見直し、幅広く市民が参加できる大会にする。

事務事業評価シート　令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育振興班

事務事業名	コード	42680	ホストタウン交流事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	1

施策体系					
基本施策	16	交流の促進	根拠法令	なし	
施策の展開	32	交流事業の促進	戦略事業	153	ホストタウン交流事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 令和 元 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 __ 年度～ 令和 __ 年度まで	ザンビア共和国事前キャンプ受け入れに際して歓迎レセプションを実施する。オリンピック終了後はレガシーとして引き続きザンビア、ドイツとの異文化交流を続けていく。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
事前キャンプの実施をレガシーとすることを目的に、オリンピック後の交流に関する事業を展開していくため、事前キャンプ地誘致等事業とは別に事業を設けた。	オリンピック延期に伴い、実施開始年度も先送りとなった。	特になし

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(3年度の決算)　単位:千円

1.オンライン交流経費	113	オンライン交流用に各種環境を整備

② 特定財源の内訳(3年度の決算)　単位:千円

1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他		

前年度増減理由	新規事業のため

			単位	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
事業費	費目内訳	1. オンライン交流経費	千円				113	
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
	事業費計 (A)		千円				113	
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
		5. 一般財源	千円				113	

従事職員数	常時	3 人	最大	7 人	×	20 日	=	延べ	140 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

3年度実績(3年度に行った主な活動)
・オンライン交流用に各種環境を整備
(オンライン会議用ライセンスの購入、モバイルルーター購入、回線契約、オンライン会議用備品の購入)

	③ 活動指標名	単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
ア	歓迎レセプションの実施	回			0	0	
イ							

目的

	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)
対象	
意図	
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
ア	歓迎レセプション参加人数	人			0	0	
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

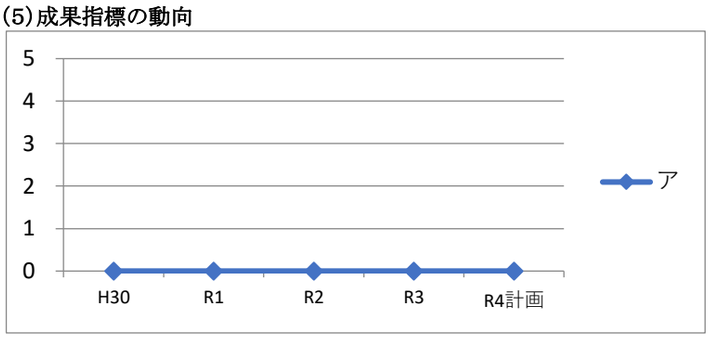
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通	③		
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③	(2)		
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☐ 概ね順調　☑ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)
事前キャンプは中止となったが、オリンピックのレガシーとしてザンビアとのオンライン交流を開始した。また、ドイツとのオンライン交流の実施に向けても調整中である。

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
					☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下

【コメント】(低下の場合、その理由)

成果動向	比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
	ア	0	0	0	0	0
	イ					

③ 今年度取組事項(4年度に取り組む主な事項について記載)

時期	内容
4月以降	・ザンビアの学校とのオンライン交流を継続 ・ドイツの学校とのオンライン交流を新たに実施 ・事業は企画政策課へ移管する

今後の方向性
- ☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 現状維持　☐ 廃止・休止　☐ 見直し　☑ その他(　事務移管　)

4月以降
本事業は企画政策課へと移管し、オリンピック終了後のレガシーとして引き続きザンビア、ドイツとの異文化交流を続けていく。

事務事業評価シート

令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育施設班

事務事業名	コード	42800	社会体育施設管理費
予算科目	会計	款・項・目	
	一般	10 / 5 / 2	
施策体系 基本施策	6	スポーツの振興	
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理	
施策の展開			
根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例		
戦略事業	66	社会体育施設管理費	
戦略事業			

事業種別：☑ 主な事業　☐ 国土強靭化地域計画　☐ 新市建設計画　☐ 定住自立圏構想　☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間

☑ 単年度繰返
　☑ 平成 17 年度～
　☐ 開始年度不詳
☐ 期間限定複数年度
　平成　年度～
　令和　年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

旭文化の杜公園庭球場、海上野球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、干潟さくら台野球場・庭球場の維持管理業務（10施設）
【使用申請受付】①インターネットによる使用申込受付②電話・来館による受付（旭市総合体育館（体育振興課）、飯岡体育館）

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の管理運営事業が始まった。

④事務事業に関する課題・環境の変化

・平成17年7月1日合併時の社会体育施設は、13施設があったが、平成24年3月に海上体育館及び海上庭球場が廃止、平成24年4月に文化の杜公園庭球場が新設、令和2年度に飯岡児童体育館が廃止、令和3年度に旭市卓球場及び飯岡庭球場が廃止され、現在10施設を管理運営している。
・全国的に施設の老朽化が進んでおり、類似施設の廃止や統廃合を進めている自治体が増えている。

⑤事務事業に対する住民からの意見等

各種競技を行っている市民から各種競技専用の施設を整備してもらいたい、との声がある。（サッカー専用場(H28)・硬式野球場(H18)に要望があったが、現在は具体的にはない。）

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(3年度の決算)　単位：千円

項目	金額	内容
1.臨時雇賃金	6,349	臨時職員賃金（飯岡体育館2名・スポーツ公園1名）
2.需用費	10,465	光熱水費、修繕料等
3.委託料	9,255	野球場外野芝生維持管理委託、トイレ清掃委託
4.工事費	21,206	卓球場解体撤去工事
5.その他	2,846	労災等保険料、通信運搬費、原材料費等

② 特定財源の内訳(3年度の決算)　単位：千円

項目	金額	内容
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他	2,775	使用料

前年度増減理由	卓球場解体撤去工事費の増

事業費		単位	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
費目内訳	1. 臨時雇賃金	千円	4,431	4,942	5,467	6,349	9,761
	2. 需用費	千円	13,310	10,575	9,471	10,465	12,627
	3. 委託料	千円	9,534	9,397	8,849	9,255	12,532
	4. 工事費	千円		21,372		21,206	
	5. その他	千円	3,143	2,520	3,027	2,846	4,235
事業費計 (A)		千円	30,418	48,806	26,814	50,121	39,155
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	3,036	2,751	1,748	2,775	3,370
	5. 一般財源	千円	27,382	46,055	25,066	47,346	35,785

従事職員数　常時 2 人　最大　人 ×　日 ＝ 延べ　人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段　① 主な活動

3年度実績（3年度に行った主な活動）
・施設の適正な維持管理、利用者の予約受付
・施設の貸し出し、料金徴収
・施設修繕等
　卓球場解体撤去工事
　海上コミュニティ運動公園野球場芝生改修業務
　飯岡庭球場南側土留復旧工事

③ 活動指標名

	活動指標名	単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
ア	施設の修繕料	千円	4,348	2,273	2,066	3,696	5,075
イ	10万円以上の修繕件数	件	12	16	6	5	6

目的　② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象：・市民
・管理している社会体育施設
意図：・安全かつ快適に施設を利用できる。
・施設を良好に維持管理し利用者に供する。

対象：
意図：

④ 成果指標名

	成果指標名	単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
ア	管理している社会体育施設の延べ利用者数	人	64,559	49,672	32,728	31,454	31,700
イ	施設の維持管理に起因した事故件数	件	0	0	0	0	0

(4)事務事業優先度評価の結果

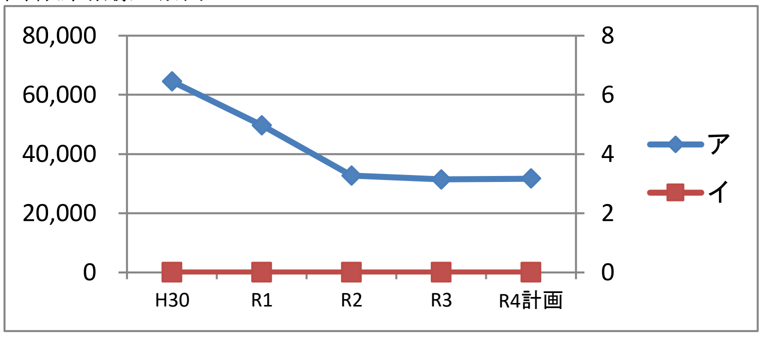
①成果優先度評価結果

施策貢献度＼成果向上余地	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい			
普通			⑦
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

評価結果 成果優先度＼コスト比率	下位1/3	中位1/3	上位1/3
①			
②③			
④⑤⑥			
⑦⑧⑨			(12)

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標	成果指標のタイプ	向上	横ばい	低下
成果指標ア	↗ 数値増＝成果向上	☐	☐	☑
成果指標イ	↘ 数値減＝成果向上	☐	☑	☐

【コメント】（低下の場合、その理由）
卓球場を廃止したため、利用者数が減少した。（R2利用者13,921人→R3利用者7,748人）

成果動向 比較	29年度→30年度	30年度→1年度	1年度→2年度	2年度→3年度	3年度→4計画
ア	7,566	△14,887	△16,944	△1,274	246
イ	0	0	0	0	0

③ 今年度取組事項（4年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
令和4年8月	海上コミュニティ運動公園野球場芝張工事
令和4年9月	干潟さくら台野球場スポーツトラクターの購入
令和5年3月	指定管理者の公募を実施し、指定業者と協定締結

今後の方向性　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 現状維持　☐ 廃止・休止　☑ 見直し　☐ その他（　）

令和4年度以降：
老朽化した施設や設備の更新を行い、適正な維持管理を行う。
個別施設計画に基づき、施設の廃止・長寿命化を推進する。
令和5年度から8施設において、指定管理者による管理運営を行う。

事務事業評価シート　令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育施設班

事務事業名	コード	42900	総合体育館管理費	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	2

施策体系					
基本施策	6	スポーツの振興	根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例	
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理	戦略事業	67	総合体育館管理費
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 平成 9 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 令和 ＿ 年度まで	総合体育館、スポーツ公園内の野球場・庭球場等の公園内施設、弓道場の維持管理業務。（弓道場は弓道協会に管理を依頼） 健康づくり運動推進事業（軽体操・ヨガ等スポーツの講座）への場所の提供。 【使用申請受付】①インターネットによる使用申込受付②電話・来館による受付 （大会の予定は前年度から利用の調整が行われ年間で決定。その他2ヵ月前から申請可能。個人利用は当日のみ利用許可。インターネットの抽選による申請は市民を優先。）

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
旧旭市において平成9年に生涯スポーツの普及を図るため設置した。	合併後、以前と比較して住民への周知が進み利用者やその活動内容が多様化したと考えられる。	大きな大会等での駐車場の不足

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（3年度の決算）	単位：千円	
1.臨時雇賃金	16,054	臨時雇賃金
2.需用費	18,923	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費
3.委託料	17,348	清掃委託料、公園維持管理委託料等
4.役務費	1,030	通信運搬費、手数料、保険料
5.その他	8,786	放送受信料、機械借上料、原材料費

② 特定財源の内訳（3年度の決算）	単位：千円	
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他	16,279	使用料、スポーツ振興くじ助成金

前年度増減理由	総合体育館の修繕費が減少したため

		単位	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 臨時雇賃金	千円	13,063	12,657	14,174	16,054	17,266
	2. 需用費	千円	31,994	22,818	20,529	18,923	20,856
	3. 委託料	千円	17,807	17,103	17,511	17,348	18,461
	4. 役務費	千円	947	1,238	1,197	1,030	1,098
	5. その他	千円	4,630	10,750	11,702	8,786	2,922
	事業費計（A）	千円	68,441	64,566	65,113	62,141	60,603
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円		690			
	4. その他	千円	18,960	21,163	13,669	16,279	14,613
	5. 一般財源	千円	49,481	42,713	51,444	45,862	45,990

従事職員数	常時 2 人	最大 ＿ 人 × ＿ 日 ＝ 延べ ＿ 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

3年度実績（3年度に行った主な活動）
- ・施設の適正な維持管理、利用者の予約受付
- ・施設の貸し出し、料金徴収
- ・施設修繕等
  - 総合体育館メインアリーナ1階トイレ排風機改修工事
  - 総合体育館メインアリーナ光電式分離型感知器取替工事
  - 総合体育館メインアリーナバスケットゴールの購入

	③ 活動指標名	単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	使用料	千円	21,996	19,427	9,531	11,478	11,463
イ	修繕費	千円	12,505	5,070	7,082	3,735	4,585

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象	市民
意図	スポーツへの参加を動機つける。
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	利用者数（総合体育館、野球場、庭球場、弓道場　、トレーニングルーム　）	人	143,096	121,197	64,181	67,446	70,820
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

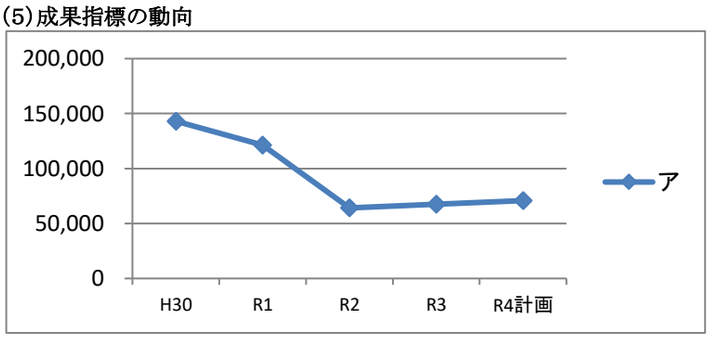
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③		(5)	
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況
【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

② 成果の状況
【コメント】（低下の場合、その理由）

成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下
成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下

感染症対策により、施設の利用制限を実施したため。

成果動向 比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
ア	△1,807	△21,899	△57,016	3,265	3,374
イ					

③ 今年度取組事項（4年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
令和4年8月	メインアリーナをワクチン接種会場として利用終了
令和4年12月	総合体育館非常放送設備改修工事
令和5年3月	指定管理者の公募を実施し、指定業者と協定締結

今後の方向性
- ☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 現状維持　☐ 廃止・休止　☑ 見直し　☐ その他（　　）

令和4年度以降
- 老朽化した施設や設備の更新を行い、適正な維持管理を行う。
- 個別施設計画に基づき、施設の廃止・長寿命化を推進する。
- 令和5年度から3施設において、指定管理者による管理運営を行う。

事務事業評価シート　令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育施設班

事務事業名	コード	43000	コミュニティ広場等管理費	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	2

施策体系					
基本施策	6	スポーツの振興	根拠法令		
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理	戦略事業	68	コミュニティ広場等管理費
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☐ 平成　年度～ ☑ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成　年度～ 令和　年度まで	市民がスポーツに親しめる環境として、市有地等をスポーツ施設として貸出及び維持管理を行う。 【施設概要】 1. コミュニティ広場：①仁玉コミュニティ広場（市有地　1箇所　管理委託）、②仁玉スポーツ広場（土地開発公社が道路代替え地として取得している土地　1箇所　利用者による管理、③新川スポーツ広場（土地開発公社が環境施設として取得している土地　1箇所　環境課から移管され維持管理） 2. 足川浜軽スポーツ場（借地　1箇所　利用者による管理） 【利用手続き】1. コミュニティ広場　利用予約必要　2. 足川浜軽スポーツ場　利用予約不要　【利用料】無料

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
・仁玉スポーツ広場は平成12年から、スポーツ広場は平成17年から、土地開発公社所有地の有効活用のため、スポーツ施設として暫定利用することとなった。・スポーツの利用ができる市有地（市有地及び借地）を、貸出できるよう整えた。	・団体による、継続した利用が増えた。 ※土地開発公社所有地活用の見通しが、取得時と変わってきた。	・利用者から、仁玉スポーツ広場について、快適に利用できる施設の整備を求める声がある。 ・利用者から、施設の維持補修について要望がある。（例年：除草作業等）

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（3年度の決算）		単位：千円
1.消耗品費	20	草刈り機部品等
2.光熱水費	125	水道、電気料金
3.修繕料	870	仁玉コミュニティ広場井戸ポンプ取替工事等
4.委託料	179	維持管理委託
5.その他	165	し尿処理手数料等

② 特定財源の内訳（3年度の決算）		単位：千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他		

前年度増減理由	仁玉コミュニティ広場井戸ポンプ取替工事による増

		単位	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 消耗品費	千円	38	17	16	20	20
	2. 光熱水費	千円	135	128	128	125	148
	3. 修繕料	千円	70		25	870	50
	4. 委託料	千円	228	242	252	179	282
	5. その他	千円	190	164	152	165	158
事業費計（A）		千円	661	551	573	1,359	658
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	661	551	573	1,359	658

従事職員数	常時	1 人	最大	人 ×	日 =	延べ	人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

3年度実績（3年度に行った主な活動）
- ・仁玉コミュニティ広場管理業務委託
- ・仁玉コミュニティ広場井戸ポンプ取替工事

③ 活動指標名		単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	仁玉コミュニティ広場利用日数	日	118	117	96	117	116
イ	仁玉スポーツ広場利用日数	日	118	54	96	117	116
	新川スポーツ広場利用日数		118	117	96	117	116

目的

	② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）
対象	スポーツを行う市民
意図	安全で快適に施設を利用できる。
対象	
意図	

④ 成果指標名		単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	維持管理に関する要望件数	件	1	1	1	1	1
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

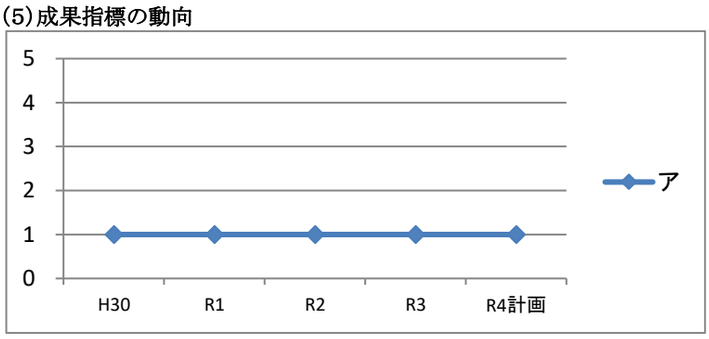
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			
	小さい			⑨

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③			
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨	(7)		

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↘	数値減＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

成果動向 比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
ア	0	0	0	0	0
イ					

③ 今年度取組事項（4年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
令和4年度	各施設の維持管理

今後の方向性：☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し　☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　）

令和4年度以降　個別施設計画に基づき、施設の廃止・長寿命化を推進する。

事務事業評価シート　令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育施設班

事務事業名	コード	43100	健康づくり運動推進事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	2

施策体系					
基本施策	5	保健・医療の充実	根拠法令		
施策の展開	11	健康づくりの推進	戦略事業	50	健康づくり運動推進事業
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理	戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 平成 9 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ＿ 年度～ 令和 ＿ 年度まで	●【旭市総合体育館2階トレーニングルーム】 開館9時～21時まで、月曜休館。会員は設備を使用して運動できる。 ①有酸素運動（呼吸しながら普通に運動　例：ウォーキング、エアロバイクなど）、②無酸素運動（例：筋力トレーニング）ができる。専門知識の豊富な指導員のもと、一人ひとりの体力に応じたトレーニングメニューの作成や健康相談等も行っている。利用料金　・市内1時間400円（月極4,000円）　・市外1時間600円（月極6,000円）で利用できる。1日最大3時間まで。高校生以上が利用可能。 ●【各種講座】各種講座を開催して運動する習慣をつけ健康増進を図る。（R3年度：初級テニス教室、軽体操教室、ヨガ教室、親子卓球教室）

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
総合体育館の開設時に体力向上・増進を目的にトレーニングルームを設置した。 この有効利用に、専門的知識を有したトレーニング指導員を配置することとなった。	特に、50歳代以上の健康と体力増加等に関心のある世代の増加が目立っておりまた、若い世代の利用者も近年増加している。全体的な傾向としては、「自己を鍛える」から「体力の向上・維持」への移行が見られる。	・利用時間を増やしてほしい・3時間以上使いたい・1日に2回使いたい ・本格的にやるには物足りない・利用者間のトラブルがある ・故障の修理に時間がかかる。（現在利用者登録は20,085人で、トレーニングルームの利用の上限は50人となっている。）

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（3年度の決算）		単位：千円
1.報償金	241	スポーツ教室謝礼金
2.需用費	236	各種消耗品　等
3.委託料	8,137	トレーニング指導員派遣委託料　等
4.借上料	2,634	トレーニング機器借上料
5.備品購入費	1,287	飛沫感染防止パーテーション購入

② 特定財源の内訳（3年度の決算）		単位：千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他	1,287	

前年度増減理由	トレーニングルームの備品購入費が増加したため

		単位	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 報償金	千円	434	367	202	241	158
	2. 需用費	千円	278	855	384	236	655
	3. 委託料	千円	7,373	7,458	7,865	8,137	9,686
	4. 借上料	千円	2,725	2,725	2,408	2,634	584
	5. 備品購入費	千円	3,326	210		1,287	5,332
	事業費計（A）	千円	14,136	11,615	10,859	12,535	16,415
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	2,521			1,287	5,061
	5. 一般財源	千円	11,615	11,615	10,859	11,248	11,354

従事職員数	常時 2 人	最大 ＿ 人 × ＿ 日 ＝ 延べ ＿ 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

3年度実績（3年度に行った主な活動）

- ・トレーニングルーム新規利用者講習会の開催
- ・トレーニングルーム利便性向上のため再講習の廃止
- ・各種講座の開催（計4講座）
- ・インターネット予約システムの利用促進

③ 活動指標名		単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	講習会開催回数	回	264	223	65	76	104
イ	各種講座開催回数	回	77	66	36	43	50

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象	トレーニングルームを利用する市民
意図	・トレーニングルーム利用者が、定期的に運動を行い、自らによる健康管理と体力づくりを行う。
対象	
意図	・日常生活において、運動するための知識を得る

④ 成果指標名		単位	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（計画）
ア	トレーニングルーム利用人数	人	56,155	51,153	17,465	19,004	20,530
イ	各種講座参加者数（延べ人数）	人	2,458	1,882	857	791	1,220

(4)事務事業優先度評価の結果

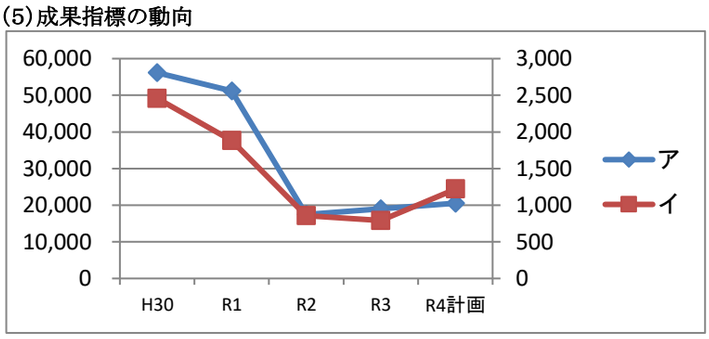
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果 成果優先度	①			
	② ③			
	④⑤ ⑥	(4)		
	⑦⑧ ⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況

☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標	成果指標のタイプ				
成果指標ア	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下
成果指標イ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

感染症対策により、施設の利用制限を実施したため。
コロナ禍により、講座参加者の出席率が減少したため。

成果動向 比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
ア	4,548	△5,002	△33,688	1,539	1,526
イ	△23	△576	△1,025	△66	429

③ 今年度取組事項（4年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
通年	インターネット予約システムの利用促進
令和4年12月	トレーニング機器の購入
令和5年3月	サッカー場を活用した教室の開催

今後の方向性

☐ 拡大　☐ 現状維持　☑ 見直し
☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

令和4年度以降
新型コロナウイルス感染症対策の徹底
トレーニング機器の適正な管理
令和5年度から指定管理者による管理運営を行う。

事務事業評価シート　令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育施設班

事務事業名	コード	43200	社会体育施設改修事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	2

施策体系					
基本施策	6	スポーツの振興	根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例	
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理	戦略事業	69	社会体育施設改修事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ___ 年度～ 令和 ___ 年度まで	旭市総合体育館、旭スポーツの森公園野球場、旭スポーツの森公園庭球場、旭市弓道場、旭文化の杜公園庭球場、海上野球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、干潟さくら台野球場・庭球場各社会体育施設（14施設）の大規模な改修工事を行う。 【旭市卓球場、飯岡庭球場は令和3年度廃止】

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業が始まった。	平成17年7月1日合併時の社会体育施設は17施設あったが、平成23年度に海上体育館及び海上庭球場が廃止、平成24年度に文化の杜公園庭球場が新設、平成30年度に飯岡児童体育館が廃止、令和3年度に旭市卓球場及び飯岡庭球場が廃止され、現在14施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業を行っている。	・各種競技を行っている市民から各種競技専用の施設を整備してもらいたいとの声がある。硬式野球場(平成18年度)・サッカー場(平成28年度)に要望があり、サッカー場は令和元年度に事業化された。 ・類似施設の廃止（施設の統廃合）

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(3年度の決算)		単位:千円
1.野球場改修工事		
2.庭球場改修工事		
3.体育館改修工事	7,051	総合体育館真空式温水ヒーター更新工事
4.測量・設計委託料		
5.空調設備工事	13,607	総合体育館控室2空調改修工事他

② 特定財源の内訳(3年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債	10,200	防災対策事業債
4.その他		

前年度増減理由	体育館改修工事費の減

		単位	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
事業費 費目内訳	1. 野球場改修工事	千円	3,097	9,188			
	2. 庭球場改修工事	千円	11,799				26,609
	3. 体育館改修工事	千円	123,439	199,517	10,856	7,051	
	4. 測量・設計委託料	千円	8,802				
	5. 空調設備工事	千円	1,944	6,820	15,744	13,607	
	事業費計 (A)	千円	149,081	215,525	26,600	20,658	26,609
財源	1. 国庫支出金	千円			15,744		
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円	92,800	192,900		10,200	23,900
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	56,281	22,625	10,856	10,458	2,709

従事職員数	常時	2 人	最大	人 ×	日 =	延べ	人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動
3年度実績(3年度に行った主な活動) ・総合体育館控室2空調改修工事 ・総合体育館送風機・空調改修工事 ・総合体育館控室1・小会議室空調改修工事 ・総合体育館真空式温水ヒーター更新工事

	③ 活動指標名	単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
ア	改修工事を実施した箇所数	箇所	12	14	5	4	1
イ	設計・監理業務の委託数	件	2	0	0	0	0

目的

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	
対象	社会体育施設
意図	施設を良好に維持管理するため大規模に改修し利用者に供する。
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
ア	社会体育施設の延べ利用者数	人	204,154	170,869	96,909	98,900	100,000
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

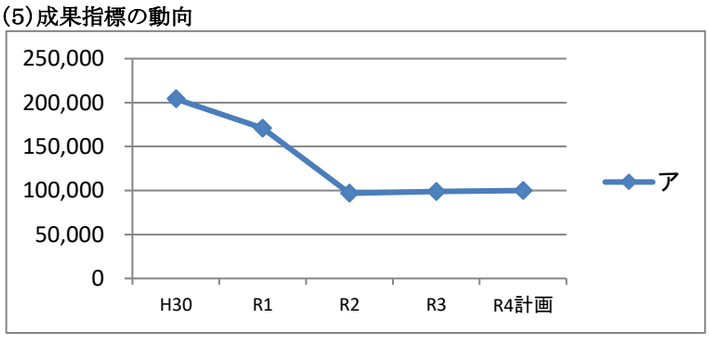
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			⑦
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果 成果優先度	①			
	② ③			
	④⑤ ⑥			
	⑦⑧ ⑨	(7)		

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況	☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	

② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上　☐ 横ばい　☑ 低下
	成果指標イ				☐ 向上　☐ 横ばい　☐ 低下
【コメント】(低下の場合、その理由)	感染症対策により、施設の利用制限を実施したため。				

成果動向 比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
ア	6,126	△33,285	△73,960	1,991	1,100
イ					

③ 今年度取組事項(4年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し ☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）
	令和4年度	文化の杜公園テニスコート改修工事	令和4年度以降	個別施設計画に基づき、長寿命化を推進する。

事務事業評価シート　令和　3　年度事後評価・決算

令和　4　年　12　月　9　日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育施設班

事務事業名	コード	43300	サッカー場整備事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	2

施策体系						
基本施策	6	スポーツの振興	根拠法令	特になし		
施策の展開	15	スポーツ施設の維持管理	戦略事業	70	サッカー場整備事業	
施策の展開			戦略事業			

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☑ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 ☑ 令和 2 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 ___ 年度～ 令和 ___ 年度まで	東日本大震災後、飯岡地域の海岸線沿いは空洞化が進んでいる。旧飯岡中学校跡地を利用し、サッカー場等、スポーツを通じて人々の交流の場となるスポーツ施設を建設する。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
平成29年10月11日に「旭市旧中学校跡地利用検討委員会」が設置され、5回にわたる検討の結果、平成30年8月の報告書で旧飯岡中学校跡地はサッカー場等のスポーツ関連施設で利活用することで意見が集約された。サッカー場等の建設に向けた準備を進めている状況である。	建設費、施設維持管理費等のコストを縮減し、かつ使用料の適正な価格設定が必要である。また、施設稼働率を上げるための活用方針検討が課題である。	市内にサッカー場が無いため、サッカー関係団体から以前より施設整備の要望がある。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(3年度の決算)	単位:千円	
1.設計・監理委託料	5,288	旭市サッカー場整備工事監理等業務委託
2.工事請負費	386,142	旭市サッカー場整備工事他
3.備品購入費	10,019	スポーツトラクター・倉庫購入他
4.補償金	258	電線移設
5.その他	285	サッカー用品購入他
② 特定財源の内訳(3年度の決算)	単位:千円	
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債	342,700	合併特例事業債
4.その他	50,506	スポーツ振興くじ助成金・ふるさと応援基金繰入金

前年度増減理由	工事開始・備品購入等による増加

		単位	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
事業費 費目内訳	1. 設計・監理委託料	千円			7,751	5,288	
	2. 工事請負費	千円			–	386,142	19,371
	3. 備品購入費	千円				10,019	
	4. 補償金	千円				258	
	5. その他	千円				285	879
	事業費計 (A)	千円			7,751	401,992	20,250
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円			–	342,700	6,100
	4. その他	千円			7,750	50,506	12,914
	5. 一般財源	千円			1	8,786	1,236

従事職員数	常時 2 人	最大 ___ 人 × ___ 日 = 延べ ___ 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

3年度実績(3年度に行った主な活動)
- 旭市サッカー場整備工事
- 旭市サッカー場管理棟改修工事
- 旭市サッカー場駐車場整備工事
- 旭市サッカー場整備工事監理等業務委託
- 使用料、利用方法等の運用方針を決定し、関係条例を改正

③ 活動指標名		単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
ア	整備箇所数	箇所			0	0	1
イ							

目的

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	
対象	市民及びサッカー場利用者
意図	サッカー場を計画的に整備し供用開始
対象	
意図	

④ 成果指標名		単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
ア	事業進捗率	%			2.7	96.4	100.0
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

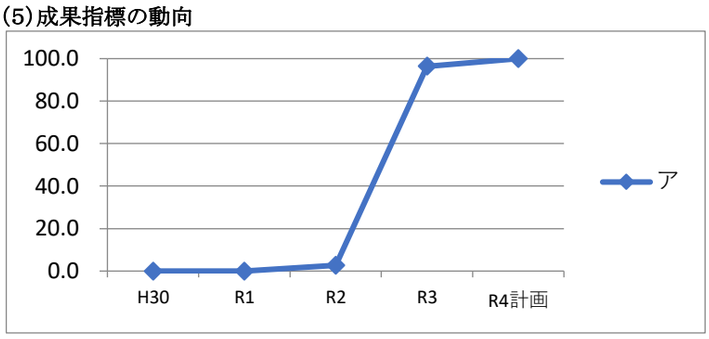
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③	(2)		
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)

☐ 完了　☑ 順調　☐ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

② 成果の状況
【コメント】(低下の場合、その理由)

成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☑ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下

成果動向 比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
ア	0.0		2.7	93.7	3.6
イ					

③ 今年度取組事項
(4年度に取り組む主な事項について記載)

時期	内容
令和4年度	旭市サッカー場照明設備設置工事

今後の方向性
- ☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 現状維持　☑ 廃止・休止　☐ 見直し　☐ その他 (　　)

令和5年度以降
- 照明設備設置により施設整備が完了となるため、本事業は廃止とする。
- 令和5年度からは指定管理者による管理運営を行う。